

東アジア気候フォーラム 2016

パリ協定の実施に向けた東アジアの役割

2016年9月24日(土) 10:00 ~ 17:30

参加費：無料

(懇親会は別途実費をいただきます。)

**会場：龍谷大学深草キャンパス
21号館 603教室
(京都市伏見区深草塚本町 67)**

■アクセス

- ・ JR 奈良線「稲荷」駅下車、南西へ徒歩約 8 分
- ・ 京阪本線「深草」駅下車、西へ徒歩約 3 分
- ・ 京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車、東へ徒歩約 7 分



昨年、パリで開催された COP21 では、歴史的合意となる「パリ協定」が採択されました。「パリ協定」では、地球の平均気温を 1.5 ~ 2°C 未満に抑えるという中長期目標と、2050 年以降に人間が排出する温室効果ガスを実質ゼロにすることになりました。世界全体の約 3 分の 1 の排出量を占める東アジアにおける気候変動対策の一層の推進が求められています。

2010 年に韓国・光州市にて開催された最初の「東アジア気候フォーラム」に参加した日本・中国・韓国、3 カ国の市民が「東アジア気候ネットワーク」を発足させ、情報共有とネットワーキングに取り組んできました。今回は京都に集まり、各国の気候変動政策やその課題を共有し、低炭素地域づくりモデルについて知恵や経験を持ち寄り、独特の気候風土と生活文化を持つ東アジアの脱炭素化に向けた議論を行い、アジア地域、さらには地球規模の気候変動防止に貢献することを目指します。

詳しいプログラムや申込方法は裏面をご参照ください。

10:00 開会式

歓迎あいさつ 白石 克孝 (龍谷大学大学院政策学研究科長) 浅岡 美恵 (気候ネットワーク代表)
特別報告 Sanjay Vashist (Climate Action Network South Asia ディレクター)

10:55 セッション1 パリ協定の実施に向けた東アジアの役割

世界全体の3分の1以上の温室効果ガスを排出する日中韓3国に求められる役割を探ります。

コーディネーター：山崎 求博 (東アジア環境情報発信所)

報告者：明日香 壽川 (東北大学 東北アジア研究センター) 鄧 梁春 (中国環境進歩センター)
イ・サンフン (グリーンエネルギー戦略研究所所長)

---- 休憩 ----

13:30 セッション2 「東アジアにおける地域の低炭素化に向けた課題について」

日中韓における地域の低炭素化に向けた課題を抽出・検討し、それぞれの地域での取り組みに活かします。

コーディネーター：李 力 (中国民間気候変動行動ネットワーク幹事)

報告者：鈴木 靖文 (有限会社ひのでエコライフ研究所取締役)

康 雪 (自然の友副代表理事) イ・ヨンウン (済州環境運動連合事務局長)

コメント：北川 秀樹 (龍谷大学政策学部教授)

---- 休憩 ----

15:30 セッション3 「東アジアにおける脱原発・脱化石燃料に向けて」

それぞれ制度の異なる日中韓の市民が、原発や化石燃料に頼らず“低炭素東アジア”をどう実現していくのか、今後の協力のあり方を検討します。

コーディネーター：林 洛平 (国際気候環境センター代表)

報告者：平田 仁子 (CAN-Japan 代表) ソン・ミンウ (グリーンピース東アジア韓国事務所)

林 佳喬 (磐石環境及びエネルギー研究所)

許 苑庭 (国際気候発展協会・ICDI: International Climate Development Institute)

17:30 閉会

【申し込み方法】

ウェブフォーム (<https://goo.gl/hIfvEY>) または申込書に必要事項を記入の上、気候ネットワーク事務局まで郵送、FAX、E-mail のいずれかの方法でお送り下さい。

【申し込み・問い合わせ先】

気候ネットワーク京都事務所 〒604-8124 京都市中京区帯屋町 574 番地高倉ビル 305 号
TEL: 075(254)1011 FAX: 075(254)1012 E-mail: kyoto@kiconet.org



申込フォーム

主催：気候ネットワーク、東アジア環境情報発信所、東アジア気候ネットワーク、龍谷大学

本フォーラムは、ラッシュジャパン・チャリティーバンクの助成を受けて開催するものです。

東アジア気候フォーラム申込書

ふりがな

名前：

TEL：

FAX：

E-Mail：

勤務先／所属団体など